

# 海拔表示シートの設置について

## 海拔表示シート

○津波被害を軽減するための対策として、道路施設等に海拔情報を表示する「海拔表示シート」を設置し、道路利用者へ海拔情報を提供することとなりました。

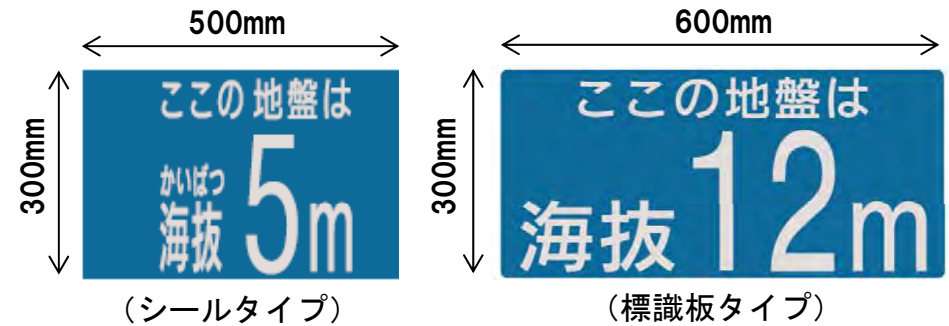
## 北海道における仕様等

○北海道開発局、北海道、札幌市、東日本高速道路（株）北海道支社から構成される「北海道ブロック道路標識適正化委員会」において、以下の取り組みを行うこととしました。

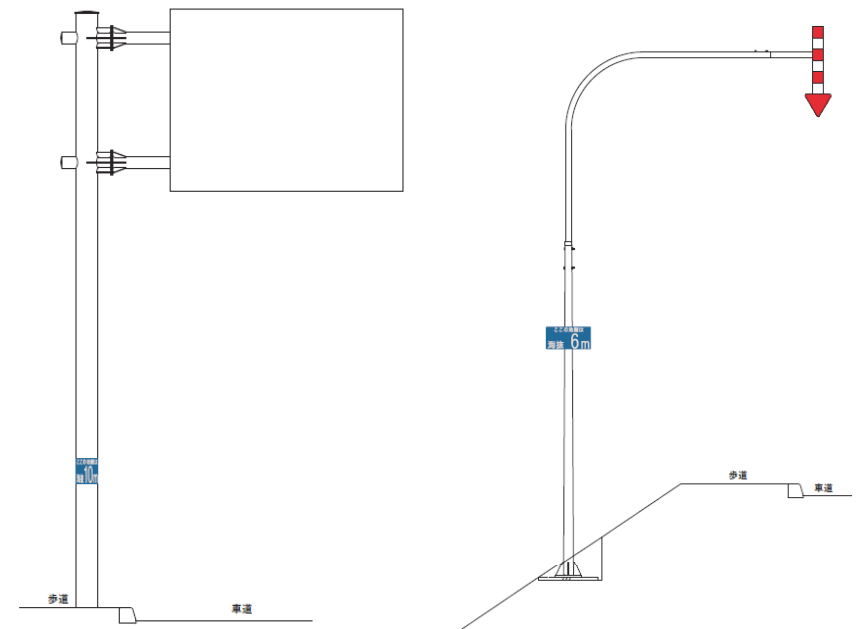
- ①表示対象区間・間隔  
北海道の津波浸水予測（設置時点で最新のもの）で示す浸水区域内及びその前後の区間で、市街地や集落では約200～300m間隔、郊外は概ね1000m間隔とする。
- ②設置対象物  
近くに標識柱等の柱径の太い柱が無い場合は、標識板での設置も可とし、郊外では固定式視線誘導柱（矢羽根）等も活用する。
- ③設置位置  
地盤から1.5m程度の高さに設置することを基本とするが、冬期の堆雪高等、地域の実情に応じて1.5mを超える高さに設置しても差し支えない。

## 今後の予定

○北海道開発局では、8月中旬以降、約2000箇所海拔表示シートを順次設置していくこととしております。



## ■ 海拔表示シートのレイアウト



## ■ 海拔表示シート施工イメージ